



1/26 こたつに入って神楽鑑賞 (元市民会館)

こたつに入って備中神楽を鑑賞するというユニークなイベント「スサノオノミコトの野望」が開催されました。

このイベントは、成羽備中神楽育成会などに所属する高校生が発案し、地元住民グループ「チームおこし」が主催。高校生、大学生5人による勇壮な大蛇退治に加え、鑑賞初心者でも楽しんでもらえるように途中で物語の解説やクイズを交えるなど、若者ならではの発想で会場は盛り上がりました。

1/29 私たちの考えるまちづくり (松原地域市民センター)

「松原町の将来を考えるワークショップ」(松原地域まちづくり推進委員会主催)が行われました。

町内に住む約40人が参加。大人と小学生に分かれ、それぞれまちの持つ魅力と課題について話し合いました。

同様の活動は、宇治町でも行われており、今後のまちづくりについて、住民が一体となって話し合っています。



2/2 遠くから高梁を思う (文化交流館)

高梁市出身者を講師に迎えて毎年行っている教育講演会(高梁中央公民館、高梁地域まちづくり推進委員会主催)が行われました。

今年は、市政アドバイザーで服飾評論家の深井晃子さんが「遠くから思う高梁」と題して講演されました。

世界各国で活躍されている深井さんは、独自の視点から見た高梁について話され、聴講者は熱心に聞き入っていました。

▼山田方谷先生のNHK大河ドラマ放映化の活動が盛り上がりつつあります。実現を求める署名は、市内で3万5千筆、全国で23万筆も集まったようです。市政アドバイザーのNHK要望活動に同行しました。NHKの幹部は、「NHK内部での知名度は、かなり上昇している」と。全国の皆さんにも、もっと広がって欲しい、早い実現を期待します。(KH)

▼成人式の取材に行きました。当たって砕けろの精神で、突撃取材をしましたが、新成人の皆さんはとても協力的で、あっという間に取材を終了することができました。紙面にも笑顔がふれていて大満足です。新成人から「感謝」という言葉が多く聞かれましたが、私たちも新成人に感謝です。みんな、協力ありがとう！(TK)

▼FC高梁吉備国際大学チャルムのなでしこリーグ挑戦がはじまります。監督や選手は「すべては笑顔のために。そして高梁のために」を合言葉に頑張っています。チーム結成から10年。忙しい日程にも関わらず、積極的に地域活動へ参加し協力してくれている選手たち。大舞台への挑戦をみんなで応援しましょう。(KY)



編集後記



1/19 みんなで元気にジャンプ (市民体育館)

青少年の健全育成を目的に毎年開催されている、第25回なわとび大会(高梁ライオンズクラブ主催)が行われ、市内外から小学生約350人が参加しました。

大会は、学年別に連続前跳び時間を競う個人戦と、10本のロープを使って8人一組で競う団体戦(写真)が行われ、団体戦には12校22チームが参加。息を合わせて跳ぶ姿に、大きな声援が送られていました。

1/19 伸ばそう この子らしさを (文化交流館)

「しょうがい児支援フォーラム ステップ2012」(市、高梁市自立支援協議会児童部会主催)が行われ、市内外から約150人が参加しました。

「発達障がい子どもたちと仲良く暮らそう」と題して、ライフサポートここはうす(今治市)の桑原所長が講演され、発達障害のある子どもの特徴を説明。お互いの思いがうまく伝わるような環境づくりの大切さを分かりやすく話されました。



1/24 農業の担い手を育てよう (総合文化会館)

高梁地域農業者のつどい(同実行委員会主催)が行われ、認定農業者、各種生産組織、団体、関係機関の職員など約140人が参加しました。

はじめに今年度、備中町で新規にトマト栽培を始めた就農者3人の激励会が行われ、続いて講演会、活動実績発表がありました。

鳥獣害対策をテーマに行われた講演会では、集落ぐるみで取り組む事例が紹介され、参加者は熱心に聞き入っていました。